

エコけん ニュース

No. 50 2003. 9

連絡先 NPO法人エコけん事務局

☎ 090-6635-9472(昼間) 092-943-0129(夜間) e-mail eco.sta@eagle.ocn.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

エコステだより

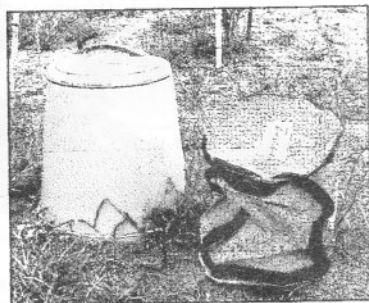
エコロガーデン



エコロの森の駐車場近くに、グリーンのおしゃれなコンポストとガーデンバックがあります。ここが「エコロガーデン」です。

コンポストは、エコステ内に飾った切り花やエコエコクッキング教室などの、エコステから出る生ごみを処理しています。エコエコクッキング教室では、コンポストへの生ごみ投入体験も教室の一部です。

ガーデンバックはエコけんの体験グッズのひとつなのですが、なにしろ腐葉土づくりは、2週間のお試しだけでは判断できない少々長い時間が必要なので、エコロガーデンに設置しました。



コンポストとガーデンバック

有機物処理体験ゾーンのエコロガーデンですが、実はまだ花を植えるに至っていません。土づくりから始まるエコロガーデン。長く、ゆっくり、少しずつ、豊かなガーデンになる事を夢見てぼちぼちやっていくつもりです。

ガーデニングがお好きな方、どうぞお力をお貸してください。ボランティア登録お待ちしております。

肥料を買わずに
もったいない!

ゴミも
減って
一石二鳥

ボランティア登録は、こちらです。



092-942-1530 内線(701)



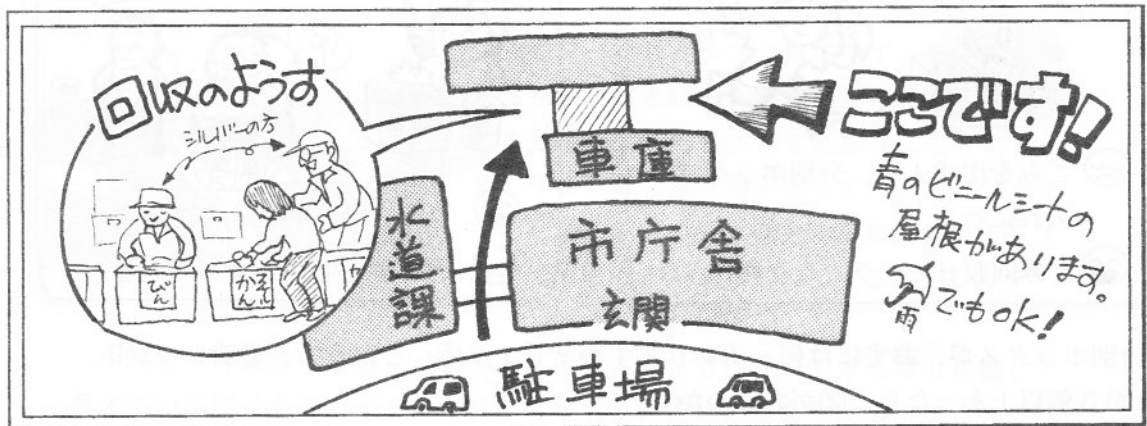
市庁舎裏分別会場

参加体験レポート



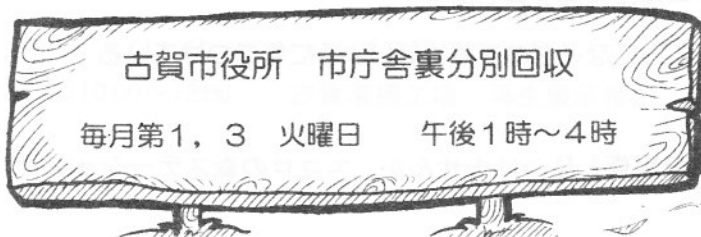
夏休みで子供達がいたからでしょうか、8月の「その他プラ」は、かなりのかさになり、うちの収納スペースにもてあましてしまいました。「そうだ、市役所の分別に持って行ってみよう!」と思い立ち、車にプラを積んで持っていく事にしました。

回収場所は市庁舎の裏手にありました。思ったよりたくさんの方が、次々に持ってこられています。定期回収はすっかり根付いているようです。回収役には、シルバー人材センターから派遣された方が4~5名おられ、全ての分別品目が出せます。



さてさて、プラは ... ありました、ありました。たっぷり入っています。回収をされていた方に、少しお話を伺いました。持ってこられる分別品目では「その他プラ」が一番多い、とのこと。回収ボックスに7箱程度にもなるのだそうです。モデル地区だけではなく、少しずつ古賀市全域に広がっているのかなあ、と思いました。

市庁舎裏で行われている月に2回の定期回収は、普段の地域での回収で出せなかった時や、たくさんあって保管に困った時の強い味方だなあと思いました。



ラクラク分別、してますか？

vol.2

前回は、ラクラク分別術その1『ゴミ箱の変身』をご紹介しました。廃プラスチックや雑紙（お菓子の空き箱や封筒など）を分別すれば、燃やすごみはほんの少しかないことに驚かされます。

でも... 分別は、やっぱりお母さんの仕事



今回のラクラク分別術その2は『置き場所選び』。分別ボックスの置き場所は、大きく分けて2つです。

① 1ヶ所だけ設置する



- ☹️ ごみを出す人が、分別ボックスに入れに行く。
- 😊 ごみ回収日に、ラクラク排出。

② ごみの発生する場所に



- 😊 どこでもごみを分別できる。
- ☹️ ごみ回収日に、集めて回る。

分別ボックスが、お宅には何ヶ所ありますか？「1ヶ所」という方、要チェック!!
Noが3個以上あったら、②がお勧めかも。

あなたのご家族はどのタイプ？

次の質問に Yes・No で答えてください。No は、何個？

1. 地球温暖化は、深刻な問題だと思っている
2. 省エネは、結構実行できていると思う
3. 決まったことは、きちんと守る
4. 分別のポイントは、ばっちり理解している
5. こまめなほうだと思う
6. ごみになるものを買わないように気をつけている

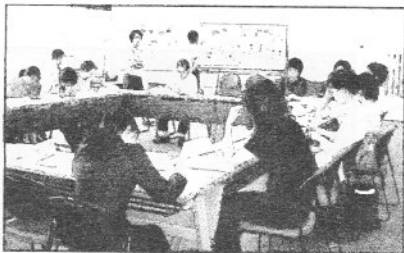
我が家流『ラクラク分別術』見つけませんか。エコロの森ステーションで、お待ちしております。

ワークショップ通信

第2回 思いの棚卸し

節約にはいつも関心がありました。経済的な面もありますが、限りある資源をムダにするなんてもったいないという思いがあったからです。

省エネルギーに関しても同様で、環境破壊のことなどを聞いたとき何か自分にもできる事はないかと思っていました。しかし、ひとりでぼんやりと考えても、まとまりがなく、漠然としたものですぐ消えていました。



今回のワークショップに参加して、皆さんの考えをうかがうと色々な方向からのものの見方、考え方があるのだと、とても参考になります。又、今日のような形で順を追ってひとつづつ考えていくと、思いが形になり、具体的にどうしていけばよいのかがよく判ってきました。

今回は「行政が～する」が多かったけれど、自分たちができる事も意識して考えていけば、もっとすぐに今日からでも動いていけるような事があるのではないかと思います。

M. S.

～事務局より～

❖ 古賀市地域省エネビジョン・ワークショップ日程。

第3回 10/9 (木)10:00～12:00 古賀清掃工場 再生展示棟2F 研修室